

## 2020. 11. 22 油断しないで守る（新約聖書：第二テモテへの手紙1章13～18節）

<https://www.youtube.com/watch?v=ti9lKdceuCc&t=11s>

『油断しないで守る』おはようございます、日曜日の朝の第二礼拝へようこそ。日曜日の午前中は、二つの礼拝があります。第1礼拝は聖書預言アップデートです。この第二礼拝は、神の御言葉を一節一節ずつ学んでます。聖書を通して学んでますが、今はテモテへの手紙第二で、今日の箇所は1章13節から18章になります。オンラインで一緒に参加の方も、第二テモテをお開き下さい。その間、お知らせですが、新しいウェブサイト“JDFarag.org”が立ち上がりました。今はまだ第一段階です。まだ未完成で、現在も作業中です。皆様の忍耐に非常に感謝していますが、それ以上に、特にフォーラムのためのお祈りに感謝します。フォーラムは非常に活発になっています。私たちはこのフォーラムが、皆さんが励ましを受け、徳を高められるために、安心して参加できる場所になることを、本当に望んでいます。このフォーラムに関して、是非とも祈っていただきたいと思います。まだ試行錯誤しながら作業しています。それでは、御言葉に入りましょう。テモテへの手紙第二、1章、13節からです。先週は12節まででした。ここにいる皆さんで、可能な方は立ち上がって、私の朗読についてきてください。無理な方は、座ったままで結構です。この箇所を読む際に、皆さんに思い出してもらうために言っておきますが、テモテはパウロからこの手紙を受け取っていて、パウロは自分がイエスのために殉教するまで、もう時間の問題であることを知っています。これらは彼の最後の別れの言葉です。この手紙を書いている時、彼は牢獄の中にいますが、私たちが今日知っている刑務所とは違います。彼は牢獄の地下牢に入れられ、後は死ぬばかりです。彼には自分が処刑されることは分かってましたが、どういう死に方になるかが分からなかっただけです。彼は首を斬られようとしていました。彼には自分が殺されるのが分かっていました。私たちがこの聖書箇所を読むにあたって、この大きく用いられた神の人、使徒パウロというレンズを通して読んでください。彼は、心から愛したテモテに、この手紙を書いています。これがパウロが書く最後の手紙で、それは牧師であるこの若い青年に宛てたものです。手紙の冒頭でも触れているように、彼はテモテを息子のように愛していました。

テモテへの手紙第二、1章、

13 あなたは、キリスト・イエスにある信仰と愛のうちに、私から聞いた健全なことばを手本にしなさい。

14 自分に委ねられた良いものを、私たちのうちに宿る聖霊によって守りなさい。

15 あなたが知っているとおりの、アジアにいる人たちはみな、私から離れて行きました。その中にはフィゲロとヘルモゲネがいます。

16 オネシポロの家族を主があわれんでくださるよう。彼はたびたび私を元気づけ、私が鎖につながれていることを恥と思わず、

17 ローマに着いたとき、熱心に私を捜して見つけ出してくれました。

18 かの日には主が、ご自分のあわれみをオネシポロに示してくださいますように。エペソで彼がどれほど多くの奉仕をしてくれたかは、あなた自身が一番よく知っています。

ご一緒に祈りましょう。天にいます愛するお父様、イザヤが言うように、私たちはある種のおののきを覚えます。あなたがご覧になるのは、へりくだって歩み、あなたの御言葉におののく者です。主よ、私たちがこの御言葉を読むとき、聖なるおののきを覚えます。主よ、私たちは今日、あなたが私たちのために御言葉を用意しておられることを知っています。今日、御霊があなたの教会である私たちに語られることに、私たちが聞く耳を持つことができますように。主よ、あなただけが出来る方法で、私たちの人生に明瞭に語りかけてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございました。今日お話ししたいのは、油断しないでおくことの決定的な重要性です。決して気を緩めないことの重要性です。特に私たちが今日生きている現代において。今日の御言葉の中で使徒パウロは、自分に与えられたものを守ることに、テモテに警告しています。

彼に預けられたもの、付与されたもの、彼に与えられたもの。彼はそれを守らねばなりません。私は理由があって、この第1章の最後の数節を、1回分の説教に充てるためにとっておきました。その理由は、すぐに分かると思います。私たちが守るべきものは何か、どのように守るべきか、そしてなぜ守るべきなのか、ということに関連して、聖書本文から三つの質問に答えたいと思います。まずは1つ目から。守るべきものとは何か？ 答えは13節にあります。ここでパウロは、彼から聞いた言葉を守るようにと、テモテに命じています。キリスト・イエスにある信仰と愛をもって、健全な教えの手本として守っていくのです。彼らには、まだ聖書がなかったことを理解することが重要です。彼らにはまだ、書かれた形での神の言葉（聖書）がありませんでした。テモテが使徒パウロから受け取っているこの手紙は、やがて靈感によるものとして、聖書の正典に含まれることになります。しかし、この頃はまだ書かれたものがなかったので、パウロはテモテに警告します。「あなたが私から聞いた言葉を、守りなさい。」パウロがこれを書いた時の語気の強さは、最初に読んだときには見落とされがちです。あなたはそれを読んで、理解し、その真価を認めます。あえて言うならば、これらの節のどれかを壁紙にしたり、額に入れて壁に飾ったりしている人は、多分誰もいないでしょう。ですよ？ 想像できますか？ 「あなたの人生の聖句は？」ああ！ パウロが自分を見捨てた二人の男を、名指しするところです。彼を見捨てて、彼のことを恥と思った人たち。それがあなたの人生の聖句なんですか？ ほんとに？ あなたは異常だ。分かっている、祈ってくれ。しかし、ちょっと待ってください。それがここで神の御言葉に含まれているのには、理由があります。そうですね？ 聖書はすべて神の靈感によるものだから。教えと戒めのため、…私たちはそこはすごく嫌ですね。励ましのため、…それはいただきます！ そこで問題なのは、なぜこれが聖書に書かれているのかということです。なぜ神は、この一節を聖書に含める必要があると、判断されたのでしょうか？ なぜ、何年も経った今、これが私たちのために聖書に書かれていることが、そんなにも重要になるのでしょうか？ 何か理由があるはずですよ。その理由は、私たちが神の言葉を、命をかけて守る必要があるとういことです！ 神の言葉を。質問です。私と一緒にこれを考えてみてください。あなたが持っている最も貴重な所有物は何ですか？ あなたが所有している中で、最も貴重なものは何ですか？ それは、あなたの救いではないですか？ それは、神の言葉ではないですか？ あなたが持っている、その貴重な持ち物について考えてみてください。あなたはそれを大事に守るのではないですか？ それを保護し、大切にし、鍵をかけて保管するのでは？ 4K防犯カメラを付けるのでは？ 私は、そうします。物質的なものではありませんよ。それは私の家族、教会という私の家族です。私たちは、自分が所有するものについて、価値があると判断したものを保護し、守り、大切にします。ここでパウロがテモテに言っているのは、それを命をかけて守りなさいとういことです。あなたの命がそれにかかっているから。これは生死に関わる問題です。永遠の。あなたはそのように、それを守るのです。しかし、問題があります。問題は、クリスチャン生活において、私たちは皆、特に自分が上手くやっていると思う領域で、油断しがちだとういことです。私はその領域ではしっかりと立っている。その辺は大丈夫。私たちはそれを弱さとして見ないので、油断する傾向があります。代わりに、私たちは自分があまり強くないと分かっているその他の領域を強化しようとしています。使徒パウロが、**第一コリント10章12節**に書いていることを見てください。「**ですから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。**」わかりましたか？ 私はこう考えます。私たちは、一番の強みを持つ分野で失敗してしまいます。ペテロに尋ねてください。考えてみてください。あのペテロのことですよ。このペテロは、あの危険な嵐の中、水の上を歩いておられるのが主だと気付いたとき、「ここまで来い、とお命じになってください。」という勇気がありました。そして、イエスが「来なさい」と言われると、彼には船から出て、水の上を歩く勇気がありました。それは信仰です。それは勇気です。あの夜、園にいたイエスを彼らが逮捕しに来た時は どうだったでしょう？ このペテロは... ペテロは愛すべき存在です。私はこの人が大好きです。早く彼に会いたいです。天国で彼に謝罪しないといけない人が多いと思います。彼は、多くの説教のネタとなってきましたから。告白しておきますが、私もやってしまいました。ペテロ。しかし、考えてみてください。彼にはその夜、イエスのためにローマ兵全員を相手

にする 勇気があったのです。それは勇気です。剣を抜いて、マルコスの耳を切り落とす。イエスはと言うと、「ペテロよ。お前っていい奴だなあ、だが…」彼を癒されます。マルコスですが、私たちは天国で彼に会えると思います。私がマルコスなら、救われていたでしょう。ペテロが私の耳を切り落としますが、イエスが私の耳を癒してくれます。「これは救い主だ！これは受肉された神だ。」私だったら、すぐその場で救われていたでしょう。しかし、それは勇気ですよね。イエスが、弟子たちをカイザリア・ピリピに連れて行った時はどうでしょう？一緒にイスラエルに行ったことがある 皆さんは知ってますが、そこは最も「鳥肌(チキン・スキン)の立つような」場所一つです。あ、すみません、本土では”グース・バンクス”ですが、ハワイでは”チキン・スキン”と呼んでいます。そこは、パン神が崇拝がされていた場所で、パンは、英語の、「パニック、恐怖」の語源です。彼らが崇拝し、恐れていた偽りの神で、この場所は「地獄の門」として知られていました。イエスは弟子たちをカエサリア・ピリピに連れて行き、弟子たちに質問をしました。「あなたがたは、わたしを誰だと言いますか？」そして、ペテロがすぐその場で…ペテロは正当に評価してあげないと。他の弟子たちは誰一人として「来い、とお命じになってください。」とは言いませんでした。他の弟子たちは誰一人として、間違っているとはいえ、肉の武器を使って霊的な戦いをした者はいませんでした。他の弟子たちは誰一人として、剣を抜いてマルコスの耳を切り落としませんでした。カイザリア・ピリピで、イエスがこの問いかけをした時、ハッキリと言う勇気を持っていたのは誰でしょうか。ペテロです。「あなたは生ける神の子キリストです。」そして、イエスはペテロに言います。ごめんなさい。でも、これを使わせていただきます。「ペテロ、あなたをローマ法王にします。」いや、イエスはそんなことは言われてません。…ごめんなさい、ごめんなさいって言うておきましたね。話が、脱線してしまいました。ペテロは、石、小石という意味です。イエスは彼に言われました。ペテロよ。わたしが生ける神の子キリストであるとしたあなたのその告白、その岩の上にわたしの教会を建てよう。そして、地獄(ハデス)のビル・ゲイツも…いえ、地獄の門(ゲイツ)も、今のは完全に意図的でした。地獄(ハデス)の門も、…彼らはそこに居たわけですが、それには打ち勝てません。(マタイ 16:18 参照)想像できますか？これは聖書には書かれてない事で、純粋な憶測なんですけど、ペテロは、「聞いたか！」って感じだったと思います。水の上を歩いた時のような感じで？ 私たちには、彼が主から目を離していたことが分かっています。物語の中では、彼は嵐を見たと書いてありますが、私は、船に残っている弟子たちを、こんな風に振り返って見る誘惑があったのではないかと思います。ブーン！彼は沈みました。分かりません。繰り返しますが、これは純粋な憶測です。それは勇気ですよね？イエスがペテロに「ペテロよ、サタンがあなたを麦のようにふるいにかけることを願っている」と言われた時にも…私がペテロなら、「主よ、あなたは許可を与えませんでしたよね？」「やったよ。」「与えちゃったんですか？なぜそんなことを？」それはその後で… なお、これは重要です。サタンはまず神の許可を得ない限り、何もすることができないからです。神は、神の栄光と私たちの利益のためでない限り、悪魔が私たちに何かをする許可を与えることはありません。そのことはヨブに尋ねてください。サタンは、神が許可しない限り、ヨブの髪一本さえ触れることができませんでした。神がそれを許されたのは、ただ、それが最終的には、神の栄光とヨブのためになるからでした。ペテロの場合も同じです。サタンは、神の許可を得ねばなりません。そして、イエスは、「わたしは彼に許可を与えた」と言います。なぜですか！？小麦のようにふるいにかけられた後に、あなたは兄弟たちを助けることになるからです。主はペテロに言います。「あなたは、わたしを知らないと言います。」ペテロの反応は、「いえ、そんなことはしません。」イエスは、「いや、そうだ。」ペテロ、「いや、そんなことはありません！」イエス：「ペテロよ。あなたは今夜、鶏が鳴く前に 三度わたしを知らないと言います。」それは、ペテロの心の中では、最もあり得ないことだったでしょう。それは想像もつかない、考えられない、まさか！です。しかし、そうになりました。で、ペテロはどこで失敗しましたか？彼の最大の強みである「勇気」の領域で失敗したのです。彼は油断しました…と言うわけで、彼らはそこに居ます。ペテロの最初の間違いは、敵の火で身体を温めたことでした。私たちが世の火の近くで快適になりすぎると、トラブルの元になりま

す。そして彼は、尋ねられます。「ねえ、あなたも彼と一緒にいたんじゃないの？」理解すべきことは、皆がイエスを見捨てたことです。ここで使徒パウロに起こったように、彼らは皆、イエスを見捨てたのです。なぜ？ なぜなら… 本気で聞いてるんですか？ 彼らは彼を十字架につけようとしています。私が彼と関係しているということは、私も磔にされるということです。だから、逃げて隠れよう。「あなたは彼と一緒にいましたね。」「いや、いなかった。」「一緒にいたでしょう、私は知ってますよ。」「いや、一緒じゃなかった。何を言ってるんだ？ 私はこの男を知りもしない。会ったことも、見たこともない！」「いや、あんたのガリラヤ訛りでわかるよ。」「あなたは彼と一緒にでした。」そして彼は、誓います。下品な態度でなく、彼は誓いを立てます。「私はこの男を決して知らない」と誓う。その時、鶏が鳴きます。聖書では、主とペテロは目を合わせたとあります。その瞬間の衝撃を本当に捉えるには、聖霊の助けが必要だと思います。イエスはペテロを見て、ペテロはイエスを見ました。ペテロは、打ちのめされました。そして激しく泣きました。二人が目を合わせた時に、イエスには「あなたはわたしを知らないと言ったのだろ！」と言ったような軽蔑、嫌悪感があったと想像してはなりません。まったく、そんなことはありません。それは、最後の言葉にはなりません。これは、ペテロの生涯に関する教えではありません。それは素晴らしい教えになるでしょうが。イエスは、ペテロを三度、回復させてくれています。「ペテロよ。わたしを愛するか？」「はい、イエス様、あなたを愛しています。」「わたしの子羊を飼いなさい。」二回目、「ペテロ、あなたはわたしを愛しますか？」「はい、愛します、イエス様。」「わたしの羊を牧しなさい。」三回目は、ペテロが泣き崩れたと言われていました。イエスが何をしているかが、彼には分かったからです。それは苦しさや悔しさや、悲しみの涙ではなかったでしょう。喜びの涙だったと思います。あの三回目で、彼は回復されていたからです。もしかしたらそれは、今日ここにいる どんたかのための言葉なのかもしれません。あなたは主を否定した。ものすごく大きな間違いをしてしまった。敵はすぐそこに居て、イヤと言うほどあなたに思い知らせ、「ああ、お前ときたら、また..私があなただったら、出来るだけ遠くに逃げるだろう。」駄目です。敵にそんなことをさせてはいけません。敵にやられてはいけません。あなたに出来る事で、あなたに対する神の愛を減らせるようなことは、何もありません。ここでもう一つ。これは明白で分かり切った事かもしれませんが、あなたが大失敗をし、滅茶苦茶にした時、天の神がこんな反応をしますか？「彼は今、何をした？」「いつこんな事になったんだ？ 冗談だろう？」「あれほど言っておいたのに！」「彼はわたしに誓い、わたしに約束までしたのに。」「『主よ、もう二度としません。』しかしまたやってくれた！ もうこれまでだ！！」「彼にはもう我慢できない。」いや、バカバカしくて笑えるけど、本当ですよね？ なぜそうなのか、分かりますか？ 私たちが天の御父を、地上の父というレンズを通して見ているからです。それはしないでください！ 私のクリスチャン人生の始めの頃、私はそうでした。それが私を、まったく苦しめていました。何年かも主と共に歩んだ後でやっと、主が私に教えてくださいました。地上の父というレンズを通して 主を見るのを止めるように。なぜなら、地上の父はいつも私に怒っていたからです。その原因は私にあったのですが、とにかく、私はいつも怒られていました。私はいつも怒られていたので、父の側にいたくありませんでした。神は私に腹を立ててはいけません。神は私を愛してくれています。というか、まだ好きでいてくれています。実際に、神は私のことが好きなんです。神は私に怒ってはいけません。ですから、神の御言葉にあるこのような聖句を読む時、この警告、その語気の強さを読む時、それは、愛なる天の父が、警戒を怠るなどと言っておられるのです。なぜなら、わたしはあなたを愛しているから。あなたが不要に、不必要に、苦しむのを見るのが耐えられないからだ。それが私たちが守るべきものです。では、どうやって？ 私が神の御言葉が大好きなのは、こういうところです。それは、聖霊によって「どのように」、神の言葉の「何を」行うのかということです。皆さんが今日、私が言ったことや叫んだことを 何も聞かなくても、これは聞いてください。神は、聖霊の力によってそれを実行するのを可能にすることなしに、あなたを召すことも、何かをするように命じることもしません。神にはそれをしない事が出来ないのです。(HE can't not!)これが適切な英語でないのは分かっています。メールしないでくださいね。それは神のご性質と一致しません。な

ぜなら、議論上、仮に神がそうされるとしたら、神は、あなたが墮落するように 仕組まれていることになるからです。神は悪をもって人を誘惑することはできません。

実際はその逆が真実です。神は常に私たちの生活の中に、神への従順を助ける環境を作ってくださいなのです。神はいつも私たちが従順になれるようにして下さり、決して転んだり失敗したりするようにはなさいません。神は常に状況を調整し、私たちの人生を演出し、私たちが従順になるように導いてくださるのです。つまり、もっと良い表現があればいいのですが、私たちにとって、不利ではなく、有利な状況になっているとも言えるでしょう。これはおそらく、聖書全体の中で 最も深い真理の一つでしょう。誇張してもしたりないかもしれませんが、劇的で、大げさに聞こえるのも承知していますが、私たちが聖なる人生を送る唯一の方法は、聖霊の力によるしかありません。パウロが言っているのは、そういうことです。彼は、あなたには聖霊が必要で、聖霊の助けが必要だと言います。考えても無駄です。やっても無駄。あなたが聖霊を持っていないなら。では、どうやって真理を守り、御言葉を守り、決して油断をしないように出来るのでしょうか？ 聖霊の力によるのです。ここに真理があります。それは実際には三つのステップです。

第一ステップ。自分には出来ないことを知る。第二ステップ。神には出来ることを知る。第三ステップ。神にさせていただく。神にさせていただくのです。私が最も気の毒に思っているクリスチャンは、信じて下さい、私もこの杯を味わいました。自分の力でクリスチャン生活を送ろうとしている人に、私はとても同情します。それは非難を招くものです。間違いなく、敵は直ちにあなたを責めるでしょう。「お前はまたつまずいた。また失敗したな。」それは聖霊の力です。私はパウロがガラテヤ人に書いたことを考えます。誰があなたを惑わしたのですか？ 誰があなたをたぶらかしたのか？ あなたは、神が御霊のうちに始められた仕事を 肉のうちに完成させようとしているのか？ どうしたのだ？ あなたは神の霊によって生まれ変わった。聖霊があなたに内在し、あなたに力を与え、あなたはここまで来た。そして、あなたはこう言う。「神様、いいですよ。ここからは私がやります。」「大丈夫です。私がやります。」「いや、お前には無理だ。」「いや、私が…」ストップウォッチは？ あ、古いたとえですね。今はアプリがあります。ストップウォッチ、ありますか？ スタートを押します。もう時間の問題ですから。パウロが、ローマ人への手紙 8 章に書いています。私はこの章が好きです！ この章が好きで、好きで、大好きです。この章が好きだって言いましたかね？ 私はよく言いますから、皆さんが飽き飽きしなければ いいのですが、もしあなたが、あなたへの神の愛を疑うようなことがあれば、あなたはこの章に時間を費やす必要があります。それは、あなたに対する神の愛からあなたを 切り離すことのできるものは、絶対に何もないと 安心させてくれますから。

#### ローマ人への手紙 8 章

**26 同じように御霊(聖霊)も、弱い私たちを 助けてくださいます。私たちは、何をどう祈ったらよいか分からないのですが、御霊ご自身が、ことばにならないうめきをもって、とりなしてくださるのです。** ああ、素晴らしい。イエス様、ありがとうございます。祈ろうとしても、どうやって祈ったらよいか 分からない時がありますよね。聖霊が言われます。「うーん。わたしがその祈りを編集する必要がある。」「わたしはそれを微調整して、あなたの代わりに あなたのたもとりになそう。」

**27 人間の心を探る方は、御霊の思いが何であるかを知っておられます。なぜなら、御霊は神のみこころにしたがって、聖徒たちのたもとりになしてくださるからです。**

分かりましたか？ ああ、これは本当に良い知らせです。なぜなら、これは以下のことを意味しているからです。私が祈り、私が神を求めているなら、私の内に住まわれ、私のためにとりなしてくださる聖霊が、私が祈ることを微調整し、それが神のみこころにしたがって 提示されるようにしてくださるのです。主が私の心をご存知ですが、私は毎日、主が 私の説教にそうしてくださることを祈っています。あなたが聞く説教は、必ずしも私が説いた説教ではありません。なぜなら、時々私はこの説教壇を降りる時、「ああ神様、今日のはあなたにいっぱい 働いていただかないと。」と思うからです。なぜなら、聖霊は心に直行するからです。人間は外見だけを見ますが、神は心をご存じで、心をご覧になります。

だからこそ神は、むなしく戻ってくるものがない ご自分の言葉がここから出て行く時、聖霊は、特に私の説教では、とても忙しく働かれ、あなたの心のその必要性に応じて、それを手直しし、編集し、微調整してくださいます。そして、私は神がそうしてくださるのが大好きです。私は誰かにこう言われます。

「牧師さん、どうして分かったんです？」何のことですか？「ああ、誰かがあなたに電話しましたか？」何の話ですか？「あなたがこれこれそれぞれ言った時、それは私のためだったんです！」私とすれば、「主よ、ありがとうございます。」それは聖霊だったんです。**使徒の働き 1章8節**これについては我慢して聞いてもらわないといけません。ちょっとの間だけ。いいですね？

**「しかし、聖霊があなたがたの“上に”臨むとき、あなたがたは力を受けます。」**ちょっとその「上に」という言葉を覚えておいてください。**「そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」**原語のギリシャ語新約聖書では、この「力」という言葉は「ドウナミス」です。こんな風に言うのをお許し願いますが、そこから次の英単語が派生しています。ダイナマイト（ダイナマイト）！ 今のは、若い皆さんには全く分からない 古いホームコメディイでした。ダイナマイト。力。それは聖霊の力です。この「上に」という言葉について話してみましょう。なぜそれが重要なのかと言うと、原語では、聖霊の働きを記述する、三つの異なる ギリシャ語の前置詞があるからです。これらの前置詞の一つは、ギリシャ語で「パラ」です。「並んで」。パラリーガル、パラシュート、パラレル（平行）といった 英単語はここから来ています。聖霊はパラ、パラクリート。横づけにする。それからギリシャ語の前置詞、「エン (en)」。英語の「イン (in)」はここから来ています。それはあなたの内におられる、内住の聖霊です。それから三つ目のもの、それはギリシャ語の前置詞「エピ」があります。英語では「upon (上に)」。それは全く異なる事態です。と言うわけで、私には助け手としての聖霊が 寄り添ってくださっています。信者である私には、聖霊が内住しておられます。そして今、私の上に聖霊が臨まれると？ -そうです。私に力を与えてくださると？ -そうです。あなたの人生に、生ける水の川が 流れ出るようになるほどに。皆さん、洪水の時の水が どれほど強力なものか、知っていますか？ それは家ごと、つまようじのように、押し流してしまいます。それくらい強力です。私が今まで聞いた中で最高の説明は カヌーのたとえでした。地元向けに説明します。ビーチにカヌーがあります。あなたはそれを水の中に入れたいが、それはビーチの砂の上です。あなたは押そうとしますが、動きません。すると突然、潮が満ちて来ます。水が。小指一本でいいんです。水と潮の力のお陰で 水に入れることができるからです。それが聖霊です。それは聖霊の力です。聖霊があなたの上に臨むとき…「何ですって、牧師さん、ペンテコステ派的な話ですか？」ちょっと我慢して下さい。これは、聖霊によるバプテスマ、聖霊のバプテスマとして知られるものです。聖霊があなたの上に臨み、あなたに力を与える時…それは「エピ」、「上に」です。「ちょっと待って下さい、牧師さん。私は救われた時に、聖霊を受けたのだと思いました。」全くその通りです！ 聖霊は皆さんの内に住まわれます。あなたの内に！ しかし、聖霊はあなたの上に臨むことができます。それはあなたの中におられるのとは違います。あなたの上です。説明しましょう。あなたはグラスと、水のいっぱい入った水差しを手にしています。あなたはその水差しを、そのグラスの隣に置きます。それは「隣に」、つまり「パラ」です。では、あなたはその水差しを取り、そのグラスの中に水を注ぎ始めます。それが聖霊の内住です。しかし、あなたがそれを注ぎ続けたら どうなるでしょうか？ その上に。それがあふれ出るまでに。それが「エピ」、聖霊の満たし、聖霊によるバプテスマです。それが唯一の方法です。それがその方法です。私は神の御言葉を読みます。神の御言葉が私を読むと言った方がいいでしょう。私が聖書を探り、聖書が私を探ります。私は多くの分野で欠けていることが分かります。あなたと私が利用できるものは、この聖なる言葉の中にある すべてのことを行うための、聖霊の力です。それがその方法です。それがその方法です。なぜでしょうか。(第二テモテ1章) 15節から18節です。(なぜ、それを守るのか?)パウロが言うには、その理由は、あなたが油断した場合、あなたは警戒しておらず、そうすると、あなたは この二人の男のようになるからです。私は再び彼らの名前を発音しようとは思いません。聖書を読んだ時、大失敗してるはずですから。考えてみたら面白いことです。2000年近くの間、聖書の中のこの

一節を読んだすべてのクリスチャン、そしてノンクリスチャンまでもが、この二人の男性について読んだのです。この二人の男性のように、聖書にあなたの名前が記録されていたら、どうでしょう？ あなたが見捨てて逃げたことが誰にも分るんです。あなたは逃げた。うわー。愛はどこでしょう？ 繰り返しますが、なぜこれが聖書に含まれているのでしょうか？ なぜこれがそれほど大事なのでしょうか？ なぜなら、それは私たちへの警告となるからです。なぜ私たちは、神の御言葉の真理を命をかけて守らねばならないのか。なぜなら、そうしなければ、私たちもまた逃げ出し、真理を捨てる傾向があるからです。ああ、ところで、先に読んで予習される皆さん、第二テモテに何と書いてあるか、ご存知ですね？ 真理からはずれた人たち… なぜでしょう？ なぜ？なぜ？ 私はなぜなのか、知りたいです。と言うのも…彼らは、すみませんが、彼らは私が「都合の良いクリスチャン」と呼ぶものだからです。ああ、牧師さん、気を付けてください。いいですよ。面白いことに、このオネシポロについては、（やはり名前の発音が定かではありませんが、）パウロは逆に、こう言います。ところで、テモテよ。私を見捨てて逃げなかった男が一人いて、それだけでなく、私がローマに投獄されたときに、彼は来て、私を捜し、彼は粘り強く私を探し出してくれ、私にとって大きな祝福となった。ところで、その当時は、彼らは刑務所では、今日のように食事を提供しませんでした。自分で何とかしないとけなかつた。唯一食べることが出来たのは、あなたに食べ物を持って来てくれる友人や家族がいた場合だけです。そうでなければ、あなたは餓死した。どうやら、オネシポロは「パウロに会わなくちゃ」と思ったようで、彼は粘り強く追求し、パウロを見つけ、パウロをととても祝福しました。さて、考えてみてください。誰もが彼を見捨て、彼のことを恥じていた日々、彼から、また、福音から自らを切り離し、福音を恥じ、クリスチャンであることを恥じていた日々に、このオネシポロとテモテの存在があつて、彼らはパウロと福音に対し、死ぬまで忠実です。うわー。私たちが住んでいるこの世界で、今の時代に、クリスチャンにとって、何が一番危険だと思うか？と尋ねられれば、答えはこれであるはずですよ。どういう意味ですか。まあ。。。人類史の中で、クリスチャンが事実として「都合の良いクリスチャン」として暴露されている時に、萎縮し、ためらい、逃げる。 「都合の良いクリスチャン」というのがどういう意味か、分かりますよね？ 意地悪くするつもりはありません。私は愛をもって、真理を語っています。よく言われるように、危機ほど、人の本性を現すものはありません。「タフ(困難)な状況になると、タフな者たちが一層頑張る」という表現を聞いたことがありますね。いいですよ。男らしい表現ですよ。さて、都合の良いクリスチャンたちは、状況が厳しくなると、彼らは逃げます。彼らは逃げ出します。聖霊に満ちて、力を与えられ、恐れず、ひるまない信者の姿を、世界が目にする必要がある時に。私はさらに一歩進んで言います。私は誰のことも非難するつもりはありません。これはただ真実です。私はこのことについて、主に、私自身の心を探ってくださいるように頼みました。私は歴史の中で、今ほどまでに、クリスチャンが神の力にあつて堅く立つ必要があつた時代はなかつたと本気で信じています。世界が見ています。彼らは本物のクリスチャンと見たいと切望し、熱望し、懇願し、嘆願しています。彼らはパニックになっているからです。それももっともな事です。「どうしたらいいんだ？」そこに、あなたが現れます。「分からない！どうしよう？」希望はありません。そうではなくて、あなたが現れると…ほーっ。あなたは…あなたには喜びがある。それはどんな感じ？あなたは、どこかが違う。それは何ですか。ああ、尋ねてもらえて嬉しいです。すべてのノンクリスチャンがクリスチャンに尋ねている2つの質問を知っていますか？ 声には出しませんが、彼らはそれを尋ねています。私たちが、私たちの内にあるその望みについて、全ての人に答えを与えることができますように。彼らは皆さん方クリスチャンについて、2つのことを知りたがっています。あなたは本物ですか？あなたは本物ですか、それとも私が遭遇した他のすべてのクリスチャンたちと同じですか？そして、2番目の質問は、それは上手くいきますか？それは本物ですか？あなたは本物ですか？そしてそれは上手く行きますか？大事なのはここです。彼らはあなたが本物であることを望んでいます。そして、それが上手くいくのを望んでいます。あなたが本物で、それが上手くいくのなら、彼らには希望があるからです。そして、人々は希望を求めています。本気で聞いてるんですか。あなたには人々の目にある恐怖が見えますか？私は娘と一

緒に、犬を散歩させます。私は人々を見ます。このお母さん、若いお母さんがベビーカーを押しています。彼女の周りには誰もいません。昔のことですが、あの日々を思い出します。彼女はベビーカーを押していて、彼女の赤ちゃんはマスクをしていて、彼女もマスクをしています。私は言いたかったんですけど...彼女の目にある恐怖！私はただ彼女の所に駆け寄りたかったんですが、上手く行かなかったでしょう。私が来るのを見たら、彼女は別の方向に逃げたでしょうから。言うまでもなく、良識的でないと...人々は希望を求めています。彼らには希望が必要です。イエスが彼らの唯一の希望です。そして、これが預言アップデートの要点でした。私たちは、できるだけ早くイエスを人々のところに、人々をイエスのもとに連れて行く必要があります。私たちには本当に時間がなくなってきました。黙示録第3章10節と11節で閉じたいと思います。これはイエスがこの教会に宛てて、ヨハネに書かせた手紙の一部です。黙示録第2章と第3章には7つの教会がありました。これらの7つの教会のうち2つは、イエスからの叱責を受けませんでした。他の5つの教会は叱責されました。迫害を受けたスミルナの教会、それからフィラデルフィアの教会です。親しみを込めて、残存する福音教会と呼ばれています。叱責はありません。踏ん張りなさいという励みしだけ。イエスがヨハネに書かせことに耳を傾けてください。

それは7年間の**黙示録第3章**

**10 あなたは忍耐についての わたしのことばを守ったので、地上に住む者たちを試みるために 全世界に 来ようとしている試練の時には、 わたしもあなたを守る。**

患難です。これはイエスからこの教会、教会への約束です。ただ踏ん張り続けなさい。わたしはあなたがたが かるうじて 踏みとどまっていることを知っています。わたしはあなたがたには、少しばかりの力があるのを知っています。わたしはあなたがギリギリで踏ん張り、あなたが戦いに疲れているのを知っています。わたしはあなたが辛抱強く 耐えているのを知っています。しかし、わたしは全世界に来ようとしている 7年間の患難からあなたを守ります。ただ、踏みとどまり続けなさい。

**11 わたしはすぐに来る。**

それは実際、原語では興味深い言葉です。翻訳の中には「素早く」と訳してあるものもあります。それはギリシャ語のタコスです。タコ・ポケやメキシコ料理のタコスではありません。そうではなく、私たちの車のタコメーター（回転速度計）という語が由来している「タコス」です。RPM、つまり一分毎の回転数の単位です。時間は設定されます：1分。回転数が測定されます。イエスが言っているのは、「わたしが来るのは 物事が加速している時だ」ということです。車好きの皆さんのために言うと、オーバーレブ（過回転）です。オーバーレブ中。そして、彼はこう言います。

**自分の冠をだれにも奪われないように、 持っているものをしっかり保ちなさい。**

命をかけてそれを守りなさい。それは可能でしょうか？ ええ、もちろん。サタンは盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするために来ます。（ヨハネ 10:10 参照）パウロは、サタンの策略（デバイス）に 無知になるなど言います。私は欽定訳の方がずっと好きです。「悪魔の策略（ワイルズ）！」それは説得力があります。そんなに甘い考えではいけない！そんなに無知でいてはいけない！彼は無礼に振る舞っているわけではありません。正直になっているんです。そんなに甘い考えではいけません。サタンの戦略、悪魔の策略をそんなに知らないでいてはいけません。彼は戦略を立てます。軍事戦略家が戦争のために地図を研究するように、彼はあなたの人生を研究し、攻撃するための最適なチャンスを待っています。あなたが油断するとき、彼はそれを知っています。彼はとても忍耐強い。それが問題です。彼は全然急ぎません。「いや、いや、まだだ、まだだ。まだだ。ただ待ってて。」吠えたける獅子。何年も前の映画があります。私は映画の話をするのは好きではありませんが、これは実話に基づいたもので、アフリカの人食いライオンについてでした。それはもう、私たちの敵を的確に 説明し、描写したものです。これらのライオンは - とにかく、ただ待っていて、そして、その村の人々のだれかが弱みを見せて、油断してしまうと、さあ、ブーム！ 攻撃します。彼はそうするのです。あなたは疲れていますか？それが彼が攻撃するが時です。あなたは落胆していますか？それが彼が攻撃するが時です。これはどうですか？

あなたが孤立している時？ それに彼が攻撃する時です。エペソ6章ですが、それは非常に興味深いです。これで最後の話にします。エペソ6章、私たちはそれをよく知っていますよね？ 霊的な武具。正義の胸当て、信仰の盾、御霊の剣、福音の履物(平和)、救いのかぶと、真理の帯。ちなみに、それがすべてを一つに保つものです。非常に興味深いです。それはびっくりするような学びです。しかし、彼はこう言います。「これらすべての上に、信仰の盾を取りなさい。」さて、なぜそう言うのでしょうか？ それは信仰の盾が、他のすべての武具よりも重要だということでしょうか？ いいえ。彼が言っているのは、次のことです。そして、彼らはそのたとえを理解してはいたはずですが、あなたはその盾を取り、自分たち全員の上にかざします。「さねはぎ継ぎ」にして、この入り込む余地のない要塞を作ります。敵がそれらの燃える矢を放つとき、あなたには当たりません。その盾が皆の上で、「さねはぎ継ぎ」になっているからです。では、何が起るかと言うと、サタンは、あなたがその覆いと保護から出てくるまで待ちます。一人出たぞ！ それまでです。彼は攻撃します。だからこそ、自分を孤立させないようにすることがとても重要なのです。孤立するなら、あなた自身を危険にさらすのです。お立ち下さい。祈りましょう。主よ、私は最善を尽くしました。聖霊によって、あなたにこの続きを行っていただかねばなりません。今回もまた、あなたにたくさん働いていただかねばなりません、あなたはいつもとても忠実であられます。主よ。この素晴らしい教会の中にも、私たちのオンライン教会の中にも、「ああ、それはオネシポロだ」と言われる人達の中に 数えられたくない人は、人もいないでしょう。忠実で、最後まで命をかけて真理を守って、持ちこたえて... 確かに、少しばかりの力ですが、それでも、しっかり守っています。主よ、私は私の特権として、この説教壇の後ろに立って、説教するたびに、今日この世界で起こっていることのすべてによって 傷ついている人たちに説き、教えていることを 痛感しています。ですから、主よ、傷ついた人たち、戦いに疲れた人たち、かろうじて踏みとどまっている人たちを あなたが励まし、強めてくださることを祈ります。主よ、彼らは本当に、どうやって今経験している事を 乗り切ったらいいのか、分からないでいます。今日の「油断せずに守る」というような説教... 冗談ですか？ 私は何とか生き残ろうと しているだけなのに。主よ、私は、あなたの聖なる言葉を実行するために 聖霊にやっていただくのを祈るだけです。イエスの御名において。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7